

# 新規採用予定職員研修会

## 東部支部

月日 平成三十一年二月二十六～二十七日  
会場 三島市 箱根の里少年自然の家  
参加者 六十二名

開会式終了後、班内で役を決め、すぐに野外活動のポイントラリーを行いました。先程出会ったばかりの人達が協力し、知恵や経験、個々の性格を絞りより良い点数、タイムを制限時間内で求めました。そのチームワークを基とし、昼食は飯盒炊飯でカレーとそれを食べる道具を竹で作りました。そこで更に深みが得られたように思います。午後の講義は「社会人として一番大切なこと」と題してアップハート代表勝又ひで子先生より、社会人として最低限の礼儀を教えてくださいました。先生のお言葉で「ありがとう」という言葉は日本語で素晴らしい言葉で、先生自身も、意識をして多く心を込めて言うように心がけているという言葉が印象に残りました。また、夕食後に行われた交流会「室内オリンピック」では、実行委員によるダンスパフォーマンスで景気をつけ、研修生達は各種競技を楽しく真剣に取り組み、更に団結が深まったように思います。

二日目の講義は「保育園・認定こども園にとって一番大切なこと」を県保連 土山雅之副会長、「あなたにとって一番大切なこと」を、

県保育士会 吉川慶子  
会長より、それぞれ保

育園、保育士の使命と役割、施設職員としての基礎知識を教えてくださいました。そして「SNS利用時の倫理的な判断と行動の重要性について」と題し、NPO法人浜松こどもとメディアリテラシー研究所代表の中澤弘子氏によるメディアに対する意識の見直し、自分がSNSを使う時十分に注意をしなければ

いけない、その為には想像を膨らませ、勢いだけでは決してしない事、社会人ならば、責任のある立場になるということを、強く言葉しました。非常に厳しくも温かいご助言だったと思います。保育に携わる者としての心を忘れない為にも、貴重な時間と仲間のご縁をいただいた経験になったと思います。研修生には、この体験を一つの帰る場所にしていただければと思います。実行委員を含めお互いに研鑽を積み、研修生方といつかまた会える日を願っております。皆さんお疲れ様でした。貴重な経験をさせていただいて、ありがとうございます



## 中部支部

月日 平成三十一年二月十九日～二十日  
会場 静岡県立焼津青少年の家  
参加者 九十五名

焼津駅前集合から研修が始まります。バス二台に分乗して青少年の家を目指します。例年朝一番に集まった研修生がこの二日間の研修の初心表明をすると伝えられます。初めに所員さんの挨拶、オリエンテーションがあり、班長や生活係など役割を決めて班別行動をします。

講義一は、県保育連合会中部支部長の私、海野が「保育所の使命と役割」というテーマで保育所の法的な位置づけ、社会的な使命についてお話ししました。

講義二では中野恵子県保育士会副会長より「保育者としての役割」というテーマで保育者としての勤務規律や危機管理意識、子どもの権利条約などについてパワーポイントを使って分かり易く講演いただきました。午後には、以前この研修に参加された、なかよし保育園の保育士、宮内美紀さん、なかよし大富保育園の保育士、待井志穂さんより、実際に保育にかかわっての体験談を聞かせて頂きました。

その後は明星保育園の櫻井英世先生の手遊び・歌遊びの実技指導がありました。乳児か

ございました。

実行委員長 いずみ保育園 十八公淨滋

ら幼児までそれぞれの年齢にあったものが紹介されました。午後は、屋外でチャレンジラリーの予定でしたが雨天の為、体育館、小体育館、創作室、廊下など工夫して使用し、各別に一〇個のチャレンジにかかった時間を競い合いました。ここにきて急に班のみんなとの一体感が高まりました。



夕食後は、各宿泊室で、実行委員が研修生の不安や悩みを聞いて助言や勇気づけをしてもらい貴重な時間を持つことが出来ました。

園で実習生を受け入れる時の振り返りや、言葉がけなど私達も学びの時となりました。

二日目講義三は、駿河こどものとも社代表の、高林公一氏による「子どもと絵本」というテーマで絵本の楽しみ方、保育におけるその活用を、お話しいただきました。

講義四は、土方良子先生による「私が目指す保育者を明確にする」というテーマでした。一人一人が積極的に参加していきけるよう、土方先生により声掛け、指導を頂き、コミュニケーション力がグンと高まりました。

研修生にとっては時間に厳しい盛りだくさんの研修でした。これから、職場の仲間と、子どもたちと、そしてその保護者と良い関係

で過ごしていけるスキルをお土産に頂いたのではないでしょうか。この二日間を通して研修生から一社会人としての思いが深まったように思います。四月から研修生の皆さんの力が大いに発揮できますように陰ながら応援しています。終わりに、講師の先生方や実行委員の皆様のおかげで新採研が無事に終了できましたことをここに感謝申し上げます。

実行委員長 一番町保育園 海野 美代子

## 西部支部

月 日 平成三十一年二月十九日～二十日

会 場 静岡県立三ヶ日青年の家

参加者 一〇二名

西部支部では例年通り二泊三日で研修を行います、一〇二名の研修生が参加しました。

一日目、会場に到着すると早速、県保連西部支部岡田支部長から「保育所・認定こども園の使命と役割」の講義を受けました。

午後は二時間から三時間かけて班ごとに歩くウォークラリーを実施しました。チェックポイントではクイズやゲームも行い、チームで助け合ったり、励まし合ったりする大切さを実感しながら親睦を深めることができました。夜には「子どもと絵本をひらくとき」をテーマに絵本についての講義を受けました。身近にある保育用具である絵本の奥深さについて、再認識する時間となりました。

二日目、県保育士会岡本副会長の講義。「保育者としての自覚と責務」について学びまし

た。次の「わらべうたを通して育つもの」の講義では、養成校ではあまり触れることのないわらべうたを学び、情緒の安定や信頼関係の構築につながる実技に触れることが出来ました。午後には「SNS利用時の倫理的な判断と行動の重要性について」最新のネット・ケータイ・スマホ」と「子どもとあそぼう」の二つの講義を受けました。安

易なSNSの利用が思わぬトラブルを招き、大きな問題になる恐れを実感しました。夜の「現場からのアドバース」では、新たな試みとして事前アンケートを行ったことで、聞く側も答える側も進行がスムーズになり、良い話し合いの時間となりました。

三日目、最後に「社会人として一番大切なこと〜人間関係と服務接遇〜」の講義を受けました。疲れはあったかとも思いますが、最後まで集中して研修に臨んでいました。

三日間という長丁場の研修でしたが、講師や実行委員の先生方の協力のおかげで無事に終了することができました。今後、素敵な保育士・保育教諭へと成長していくものと、信じております。

実行委員長 ひくまこども園 山田佳敬

